

北海道の園藝を語る

この座談会は北大の諸先生を囲んで一月七日札幌市内において開催したもので、北海道の園芸のあり方と将来について種々の指針となることと存じます。

園藝座談會

まず十五号台風の災害を顧みて今後の果樹園芸対策について沢田先生からお話しを願います。

沢田 十五号台風のような強風に対して被害を未然に防ぐというようなことは到底できないことであつて、これを最少限にとどめる考えが必要でしょう。

まず大果樹の倒木防止ということでは、主根を深く伸長するように考慮することである。そのために植穴を深く掘つて下層に粗糞類を入れる最近指導される方法で植付けることが望ましく要は直根を伸ばすようにすることが大切である。また根本的には圃場に砧木を発生しそれに直接接木した木は最も強いということになる。

防風林を設置すること。このことは前から主張していることであるが、特に北海道では果樹園の保温の面からも絶対的に急速に整備しなければならぬ。

次に昨年台風を受けた本道の果樹に対して特に注意したいことは本年の結果数を極力制限すること。風倒木はもちろんであるが殆どの樹が相当衰弱しているので本年は樹勢の恢復に重点をおき結果数は五割以下にとどめるべきでしょう。昨年の減収を本年取戻そうなどと考えることは厳にいましめなければならぬ。

五十嵐 被害の甚しい樹は新品種をもつて更新するというようなことはどうでしょうか。

沢田 倒れた樹でも被害程度の軽い樹はこれを起し育てることが経済的である。優良品種との更新は高接する方が早く結果を

見られる。高接した場合に高接病という面倒なことも生じてくるが、これは枝接ぎをしたところから自根を出させることによつて解決はつく。被害甚しい樹は思い切つて優良品種と更新することが望ましい。

更新すべき優良品種としてはデリンジャス系、ジョナレッドなどがよい。国内産品種では東北三号がよい。東北三号は紅玉とワオセスターの交配種で外観は紅玉、熟期は旭と類似、酸味は紅玉よりやや少ない。豊産で大衆性がある。旭、紅玉などももちろん取入れて行かねばならぬ。

星野 北海道の北部ではコートランドなどもよい。

果樹園の土壤管理 と草生栽培

白幡 昨年秋台風直後網走の呼んで果樹園を見たが草生栽培をやつたところの果実は落果したものが殆ど無傷であつたが、園主は草生栽培の利点を思いがけぬところで体験したと言つていた。

沢田 草生栽培園の落果の損傷率については青森でも成績が発表されておる。すなわち草生栽培園は落果の受傷二五%に対して、裸地は七五%といわれている。この際草生栽培を強力に進めたいと思う。

星野 果樹園の草生と家畜とを結びつけた経営をやることが必要であらう。島 全く同感でそれぞれの地帯と経営に

牧草と園藝 二月号目次

◆表紙写真	冬牛舎	上野幌育種場
◆欧米随想		工藤 良忠
◆園芸座談會	北海道の園芸を語る	三
◆養豚を取入れた酪農経営の一方	菅原 哲美	六
◆牧草種子の知識	中野 富雄	八
◆プラムの栽培について	白幡 喜一	一〇
◆カリフォルニアの農場に見る	牧草と園芸	宮本 晋司
◆種苗案内		一四

らに管理の労力がかはぶけるのであるから何としても取入れるべきである。

道内の主要果樹生産地帯で町村が草生用種子代の半額助成を行うところもできてきた。草生栽培を行えば刈草の量が多くなつてマルチング(敷草)を行うこともできる。

長野県では平坦地でマルチングを行ない相当成果を挙げているところがある。住生地では十五町歩の果樹園の九割までが菓稈類を用いて、五、六寸の厚さに敷いているが主として稲藁を用いている。草生あるいは

台風災害とその対策

と存じます。

と存じます。

マルチングを行うときに注意すべきことは草生箇所やマルチングの箇所が病害虫の潜伏場所になりやすいことである。随つて共同防除によりその徹底を期すことが大切である。

島 青森県では薬をマルチングに使うことには相当無理がある。現在県の薬工品は農家の副業として農閑期の大きな仕事であり、大きな収入源ともなっている。県内でリンゴの包装用の縄その他にも相当消費されているが、県外にも売出される。このことと自身が水田の地力を落しているの、さらにこれをリンゴ園にまで延長することは困難である。

沢田 アメリカではマルチングを行うため鋸屑、海草の類を使っている。国内の例では静岡県、浜名湖周辺で白菜の圃場に豊富に採取できる藻の類を反当り三千貫ぐらゐも入れているが白菜のでき栄は実に見事である。畑に足を踏み込むと丁度スポンジの上を歩くような感じである。余市附近では熊笹を切断して用いているがマルチングのためにはそれぞれの地方に相応した方法を選ぶべきである。現在米国のマルチングの普及を見ると果樹園面積を減らしても、牧草を栽培して搬入するというようにしている。

島 要するに果樹園の草生ということも土壤管理の一つであつてあくまでも土壤改善が重点である。従つて雨の少ない米国の西部などの乾燥地では清潔耕鋤法により土壤水分の発散を抑制し草と樹による水分の競奪を防止している。

英国のように雨の多いところ又は日本のように雨と傾斜地の多いところでは草生栽培により土壤流失防止を行わなければならない。このように草生栽培はいかなる条件のところでもよいのではなくて立地条件に依りて行われるべきである。根本は土壤中の有機物を増加することにあり。

星野 草生園の更新年限についてもいろいろ意見があるようだが、
沢田 五年毎ぐらいの更新が良いようです。

五十嵐 草生の方法も一率に行かないのでしよう。二十世紀の名産地である島根、鳥取地方では梨園がエローションにより根が露出して根上り松のようになつてゐる。あの地帯では一年生のクリムソクローパーを秋播して五月中旬までに鋤込む方法すなわち年中草生を続けない方がよいといわれている。

星野 シヤース氏の本に草は取るよりも生やせとあつたが、味わうべきことではな

沢田 日本農業はグリーンカルチャーが徹底し過ぎた。雑草恐怖病にかかつてい

園藝躍進のためには生産コストの低下が緊要

島 アメリカのルース氏は「日本の生きる道」というパンフレットに日本の農業を

旺んにするには、無機質肥料を節減して土壌有機物の増加を図れと記しておる。またロデル氏の「黄金の土」にも土壌有機物の増量を提唱しているが、このことが最も大切なことである。

要するに十五号台風を顧みて強く考えさせられることは、一年ぐらいの災害で経営がグラツクような形態では駄目だ。もつと底の深い安定した経営でなければならぬ。これがためには家畜の導入も必要であり、自家食糧の生産確保も重要である。ま

出席者

- 星野 勇三 (北海道園芸会々長、北大名誉教授)
- 島 善鄰 (前北大学長、北大名誉教授)
- 沢田 英吉 (北大教授)
- 明道 博 (北大助教授)
- 石田 文三郎 (北大助教授、北大附属植物園主任)
- 五十嵐 清司 (雪印種苗、専務)
- 白幡 喜一 (雪印種苗、藤の沢育苗場長)
- 小松 亀三郎 (雪印種苗、園芸部)

た農家の生産コストの低減を常に工夫研究すること。たとえば果樹の病虫害防除にしても九回も十回も撒布すればどうしても経費が嵩む。もつと撒布時期と方法を研究して五、六回の撒布で最高の効果を上げることを考えなければならぬであらう。園芸の躍進を期するにはどうしても製品のコストを引下げて大衆が買いやすい価格にせねばならぬ。

これからの園藝と販賣のあり方

五十嵐 北海道とくに札幌附近などは人口の膨脹に伴なり住宅の新設で既成の果樹園が逐次圧迫されているが今後どの方面に伸展して行くべきでしょうか。札幌の八垂別の斜面から月寒の台地、石山、藤の沢方面からまた道南方面など果樹園の新地帯開拓が必要だと思ひます。

島 八垂別などは確かに適当でしょう。道南の亀田附近は蔬菜と薯におされて当分は駄目でしょう。

星野 函館附近は蔬菜の嗜好の低いところであつたが、今でもそうでしょうか。

沢田 あの附近は現在でも蔬菜は良いものは函館に出さず札幌、小樽へ出荷しているようです。

白幡 北海道では胡瓜でも茄子でも若くて美味なものが市場に少なく、食味のおちた大形のものが出廻つてゐるが、販売業者の頭の切換えや消費者の指導啓蒙が必要ではなからうか。

島 果物についてもその通りだ。実用上支障のないわずかな傷果やゴールドデリシヤスに赤味の着いたものを買いたいという、美味な旭などを時期はずれに出すと安く仕切るなど、果物の食味と芳香など真価を知らないのではないかと思はれる。包装荷造などももつと簡易にして、安価に売る方法もあると思はれる。結局果物を一般大衆の毎日の食品化して消費の増大を図るようになつていなければならない。

小松 北海道は新鮮蔬菜の収穫期間が非常に短期間だから、蔬菜の冷凍貯蔵などの企画はどんなものでしょうか。

沢田 北海道は雪下貯蔵が容易であるために従来あまり注目されなかつたが、現在冷凍貯蔵庫の大規模な設立計画もあるようです。

島 米国のような冷凍会社の設置が必要である。各種の凍菜を大都市に出すことを将来企業として行うべきである。

五十嵐 北海道の蔬菜園芸は気候的にも、地理的にも府県に比べ各種の制約を受けるが、反面北海道でなければという優位点もあると思う。現在も馬鈴薯、札幌黄玉葱並びに菜豆、ホーレン草の採種など北海道特産のものもあるが、ほかに何かないであろうか。

島 北海道でもグリーンアスパラガス、セルリー、チンヤなど西洋野菜の良いものをぜひ普及させたいものである。

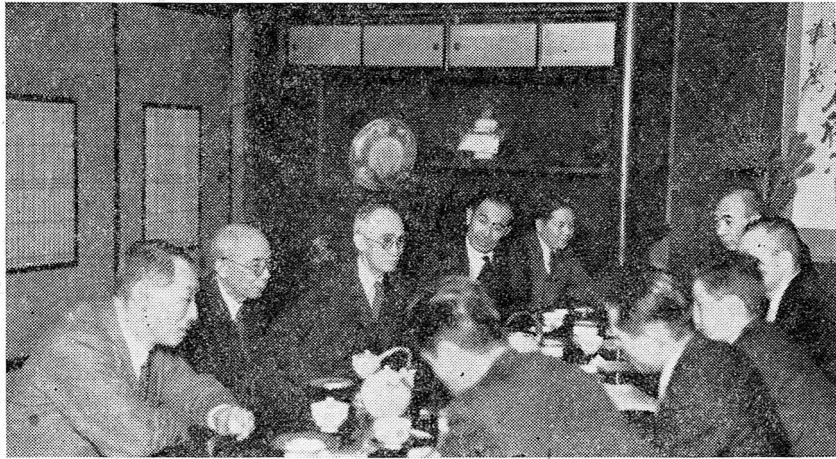
観光と園芸

五十嵐 では話題をかえて観光北海道の実現ということでまず道路、鉄道沿線の美化並びに学校、公園はもちろん官庁、会社、住宅、とくに農家の庭などの環境美化に努めなければならぬと思うが、観光と園芸について御意見を、

石田 全く同感である。北海道でも農村の道路、鉄道沿線などにプラタナス、公孫樹、桜などを植えたこともあるが、日本人は植えてつ放しでその後の手入れが悪いためにさつぱりよくならないものが多い。甚だ

しいのはせつかく大きくなつた街路樹を畑に陰ができるからということと切り倒してしまふものさえある。

星野 やはりああいうものは植える際も



植えた後も専門家の意見と指導を十分取り入れなければ駄目だ。無理があるから成功しないことになる。

石田 植える植えるというだけでは駄目で植えさせる方でも親切心が必要だ。具体

的に指導しなければいけないと思う。

島 花木を愛するということ教育がまず必要だ。このことは小さい子供のころから教え込まねばならぬ。尾崎さんが東京市長のころ寄附した日本の「桜」がアメリカで立派に成功して名所になつてゐるのに反し、アメリカからその答札に送られた「花木」が殆ど姿をかくしてしまつたということには残念であり恥ずかしいことだ。要するに公德心の問題だと思ふ。またある人が英国に旅行した際に公園のローンの美しさに感嘆してローンの作り方や手入れ法を質ねた時に英人某がそれは英国八百年の歴史ですと答えたというが、英国人の教養と公德心が公園のローンを美しくしているものだと思つて良いではなからうか。

星野 札幌市大通の花壇はまず札幌としては成功したと言つてもよいだろう。

五十嵐 各地方を旅行して思うのが、駅のホーム、前庭などに美しいその地方の草花、花木などで飾られているのを見ると洵に心楽しいものである。千歳線の上野幌駅のホームと堤には私どもの農場から贈つた草花や球根類を植えて「雪華園」と名づけているが実に美しい。

島 どこかの駅に盆栽棚が設けられてあつたが本当に好ましいと思つた。

石田 それぞれの地方の特色ある花木などが駅や沿線に植えられるならば本当に旅行も楽しいものになるであらう。

星野 ローンの美しさなども広い北海道としては大いに取り入れたいものである。

石田 ローンも種子の播き放しでは決し

て良いものにはならない。北大の植物園でも毎年ローンの肥料としてあれだけの面積に油粕二十俵を使つてゐるのだが、その話をしても誰も信用しない。ローンなどに施肥することなど考えていない人が多い。ローンの造り方なども指導しなければならぬ。

私の所の高山植物園なども最近は無理解なカメラマンのために踏み込まれることがままあつて困つてゐる。

明道 観光北海道の実現のためには若い人々の教育、社会教育ということがまず必要です。

生活と園芸

島 観光と園芸ということもきわめて大切なことだが、「生活と園芸」がシックリ結びつかねば駄目だと思ふ。北海道知事の提唱してゐる「新生活運動」の中にも園芸の発展という問題を大きく取り入れて「生活と園芸」を結びつけて行きたいものである。

五十嵐 では長時間に亘り根本的な問題についていろいろと御高見を賜わり本当に有難うございました。細部の技術的な問題などについては後日また御意見を承ることにして本日はこの程度で終りたいと思ひます。今回お聴かせ願つたことがらについて私ども種苗業者としても深く反省し、これを消化して直ちに実践に移すべきことも多いのですが、今後とも何卒よろしく御指導下さいませよう願ひいたします。

(文責在記者)